

「今日も暑いね。」が挨拶になっていますね。『おんぶにだっこ』は緑に囲まれた環境がちょっぴり涼しさを感じさせてくれている気がします。

水遊びでは、水の感触を五感を通して味わったり、仕草や言葉のやり取りをしたりして、刺激をいっぱい受けて遊んでいます。8月いっぱい遊べますので、着替えやタオルを持って出かけて来てくださいね。9月になっても暑い日が続くと予想されます。年齢に合わせたおもちゃや一緒に過ごす友だち、ふれあい遊びなどもお子さんの成長のよい刺激になるかと思えます。心地よいプレイルームを中心に、園庭や廊下での体を動かす遊びも取り入れながらメリハリのある一日を過ごしましょう!・・・お待ちしています。



令和3年8月16日号



新型コロナウイルス感染症対策を講じて開所しています。ご協力、お願いします。また、状況により予定は変更になることがあります。

9月の予定



	月	火	水	木	金	土
AM	8/30 ☆	31 ぺんぎん	9/1 ひよこ	2 ☆	3 うさぎ	4 ☆
PM		☆			☆	
AM	6 ☆	7 ぺんぎん	8 ひよこ	9 ☆ 栄養相談	10 うさぎ	11 ☆
PM		☆			☆	
AM	13 ☆	14 ぺんぎん	15 ねんね	16 ☆	17 うさぎ	18 ☆
PM		☆			☆	
AM	20 敬老の日	21 ぺんぎん	22 ひよこ親子	23 秋分の日	24 うさぎ	25 ☆
PM		☆			☆	
AM	27 ☆	28 ぺんぎん	29 ひよこ	30 ☆	10/1 うさぎ	2 ☆
PM		☆			☆	



〒509-6103
瑞浪市稲津町小里364-1
『おんぶにだっこ』
Tel.66-1064

利用時間：AM9:30～12:00
(火・金；PM13:00～15:00)
12:00～13:00は室内・玩具の消毒のため、利用できません。お弁当の持ち込みも中止です。

開所時間：8:30～17:00
(土：8:30～12:00)

9/9(木)「栄養相談」ができます!

保健センターから栄養士さんがみえます。授乳や離乳食のこと、体重のこと、食事・おやつについて、アレルギーや好き嫌いについてなど、日ごろ「困ったな・・・」「これでいいのかしら?」と思われたことなど気軽に相談できます。いつものように、お子さんを遊ばせながらお話ができます。10時30分からです。



9/22(水)ひよこ親子あそび

10時から始まります。定員8組、要予約(電話、可)
予約受付開始は、8/23(月)9時30分からです。
おもちゃ作り(『おんぶにだっこ』に見本がありますよ!)や、親子の絆を深めるマッサージ、「こんな時、どうしてる?」など気軽に聞き合えるママ同士のおしゃべりタイムなどをして過ごしましょう!

工事に伴い、迂回をお願いしています

『おんぶにだっこ』までの経路で、稲津小学校校庭の工事に伴い大型車両が通行します。すれ違いが難しいため、迂回路をご利用ください。迂回路の地図は、ホームページ、4センターで受け取っていただけます。詳細は、「おんぶにだっこ」にお問い合わせください。



子育て支援センターでこんなことしたよ！



水遊び 楽しいよ！

毎日、気温の高い日が続いていますね。涼しさを感じていただけるよう、今年も水遊びを始めました！シャボン玉遊びや金魚すくい、シャワーの水に触れる、カップで水をすくって流すなど、いろいろな様子がかかわれます。ママや友だちと一緒に水の気持ちよさを感じながら楽しんでいます！水遊びは8月末までできます。おもしろい！気持ちいい！をたくさん感じて、一緒に楽しみましょう♪



水をすくって、ジャー
友だちと一緒に楽しいね！
アヒルさんも気持ちよさそう♪



シャボン玉いっぱい！
上手にできたね♪



金魚さん、つかまえた!!



シャワーから流れてくるお水、
冷たくて気持ちいい～！



《誤飲に気をつけましょう!!》

「誤飲」は、0～3歳の小さな子どもに多い事故です。子どもは5～6ヶ月頃から手に掴んだ物を何でも口に持っていくようになります。これは発達段階で自然な行動なのですが、子どもはのどが狭く、飲み込んだり、吐き出したりする力が弱いので、口に入れた物でのどを詰まらせ、窒息を起こすこともあります。また誤飲した物によっては、命に関わることもあります。

頻度が高く、危険度が高いものとして「タバコ」「医薬品」「ボタン電池」「ピーナッツなどの豆類」があります。最近ではゴミ箱に捨ててあった加熱式タバコのスティックをなめたり、口にいれたりしていたという事例が多くあるそうで、国民生活センターが注意喚起をしています。

小さな子どもの口の大きさは直径約4cm（トイレットペーパーの芯の直径とほぼ同じ）。これより小さくて口に入るものは何でも誤飲や窒息原因になる可能性があります。

※子どもが口に入れて危険なものは、手の届かない・目に触れない場所に置きましょう。子どもは予想外のことをします。「このくらいの年齢ならもう口にしないだろう」「触ったことがないから大丈夫」ではなく、再度ご家庭を見渡し、危険な物はないかチェックしてみましょう！